

判定表は2種類(市全域のもの及び該当するゾーン区分のもの)添付してください。

市街地利用ゾーン 景観形成基準適合確認判定表(建築)

| 届出者:株式会社 ○○○○ 代表取締役 ○○ ○○ | | 適合確認者:株式会社 ○○○○ △△ | | |
|---------------------------|--|--------------------|--|--------|
| 行為の場所:栃木市○○町○○番○ | | ゾーン区分:市街地利用ゾーン | | |
| 項目 | 景観形成基準 | 適合確認欄 | 具体的な取り組み | 適合判定欄※ |
| 配置 | 道路からの位置 周辺と壁面線を調和させるとともに、道路等の公共施設に面する壁面の後退等により、オープンスペースを設け、ゆとりある町並みを形成する。 | ✓ | フェンスを後退させて配置し、スペースを確保することで、周辺と調和した景観を形成する。 | |
| | 周辺から壁面線を大きく後退させる場合は、門や塀、植栽等の設置により、町並みの連続性を途切れさせない工夫をする。 | ✓ | 該当なし。 | |
| 高さ | 背景となる風景と町並みに配慮した高さ 周囲の町並みとしての連続性に配慮するとともに、圧迫感を生じないように努める。 | ✓ | 太陽光パネルの設置角度を10度とし、高さを2.4mに抑える。 | |
| | 山並みが眺望できる場所では、市街地の背景となる山並みの稜線に配慮した高さとする。 | ✓ | 太陽光パネルの設置角度を10度とし、高さを2.4mに抑える。 | |
| 形態意匠 | 良好な町並みの形成 町並みの統一感や連続性に配慮し、建築物と周辺の景観にも違和感なくなじむ、まとまりのあるものとする。 | ✓ | パネルやフェンス等は、周辺の自然環境と調和する色合いとし、景観との一体感を図る。 | |
| | 暮らしへの配慮 生活者に、落ち着いた雰囲気を与えるようなものとする。 | ✓ | 反射の少ないパネルを用い、落ち着いた雰囲気を保つ。 | |
| | 来訪者を心地よく迎える配慮 複合都市拠点や駅周辺では、栃木の歴史的町並み景観と都市景観が融合した、玄関口にふさわしい景観を形成する。 魅力的な歩行者空間を創出すべき場所では、低層部の形態・意匠に配慮する。 | ✓ ✓ | 該当なし。 該当なし。 | |
| 色彩 | 市街地の形態に応じた色彩による調和 周辺の建築物や背景となる風景から突出した色の使用を避け、周辺の町並みと調和した色調とする。 | ✓ | フェンスに周辺の色合いに近い仕上材料を使用する。 | |
| | 色彩ガイドラインに適合し、良好な景観形成に資する色彩とする。 | ✓ | 色彩ガイドラインに適合した仕上材料を使用する。 | |
| 素材 | 自然素材や地域で使われてきた素材の活用 自然素材を活用するとともに耐久性、季節や気候の変化に強い素材を使用する。 | ✓ | 環境の変化に強く、耐久性の高い素材を使用する。 | |
| | 伝統的に使用されてきた素材や地場産業の素材、伝統的な | ✓ | 該当なし。 | |

全ての届出対象行為について適合確認を行ない、適合確認欄に✓(チェック)を記入してください。

適合判定欄※は、市が適合判定の際に使用しますので、何も記入しないでください。

(裏)

| 項目 | 景観形成基準 | 適合確認欄 | 具体的な取り組み | 適合判定欄※ |
|--|--|-------|--------------------------------|--------|
| その他 | 付帯設備 屋外設備、屋上設備は、建築物と一体的なデザインの壁や格子状のもので覆う等、目立たないようにする。 | ✓ | 施設の設置範囲をフェンスで囲い、外部から直接見えにくくする。 | |
| | 付属施設 車庫や物置、倉庫等の付属物は、圧迫感を生じないようにし、建築物と一体的なデザインとする等雑然としないように努める。 | ✓ | 該当なし。 | |
| | 緑化 住居系市街地においては、生垣等の設置や敷地内緑化により、緑あふれる町並みの形成に努める | ✓ | 敷地南側に植栽を行う。 | |
| 特筆すべき具体的な取り組み 低明度低彩度のパネルを採用し、付帯設備も一体感のある色彩とすることで、周囲の景観に配慮した。 <div data-bbox="188 940 507 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"><p>景観形成に基準に適合するため行った取り組みの中で、特筆すべきものを記載してください。</p></div> | | | | |

(備考)

1. 届出対象行為が、景観形成基準に適合しているか確認をしてください。
2. 市街地利用ゾーンの景観形成基準について届出対象行為の適合確認を行ない、適合確認欄に✓(チェック)を記入してください。
3. 具体的な取り組み欄については、その景観形成基準に適合するため行なう取り組みを具体的に記入してください。
4. 特筆すべき具体的な取り組みの欄については、具体的な取り組みの中で、特に景観形成基準に適合するため行った取り組みについて、具体的に記載してください。
5. 適合判定欄※は、市が適合判定の際に使用しますので、何も記入しないでください。